

ベイ★キッズ

横浜子育て応援マガジン

ベイ★キッズ

FREE
2023 SUMMER
vol. 049

電気の
の
み
ら
い

02 | エネルギーについて
考えよう

03 |

まちすき

NPO法人海の森・山の森事務局

豊田直之さん

身近でできるSDGs

ソーラークッカー

夏のお届け便

コスモス

パパと遊ぼう

よこはま子どもカレッジの
名物せんせい

04 |

こどもと一緒に楽しもう

夏に出会える身近な虫

Credit

スタッフ: 東恵子 船本由佳 本田真弓

ベイ★キッズ みなとくらす: 木下菜穂

デザイン: 川本智子

協力: あそびい横浜 横浜市こども植物園

横浜市温暖化対策統括本部

写真: 菅原康太



● 編集・発行/ベイ★キッズ編集部[NPO法人シャーロックホームズ] 〒220-0002 横浜市西区南郷井沢18-1-110 TEL.045-324-5033 FAX. 045-548-4514
http://baykids.jp info@baykids.jp * 情報提供や広告掲載に関するお問い合わせは上記まで。 * 紙面の無断転載を禁じます。

節電協力に応じたいけれど…



大手電力会社の規制料金の値上げが今年の6月から実施されています。ウクライナ侵略等による世界的な燃料価格の高騰や為替の影響により、日本に輸入されるLNGや石炭等の輸入価格が高騰したことが主な要因です。電気代を抑える策があれば良いのですが、世界情勢が関わるため、2023年現在、電気を使う限りは電気代金を抑えることは難しい状況といえます。

次に、電気代ではなく電気の使用量についてはどうでしょうか。エアコンなどの使用量が増える夏は一層電力需要が逼迫します。節電協力の呼びかけにどう応えたらよいのか、悩む人もいるのではないのでしょうか。子育て世代が快適に過ごすためには、湯沸かしや冷暖房など、ある程度の電気を使うのは必要なことでもあり、極端な節電生活は難しいものです。

使う電気は自分でつくる未来のまち

今ではなく、少し未来に着眼点を置いてみましょう。いまの子どもたちが大人になる時代にはどうなっているとよいでしょうか。

現在の大手電力会社による電気の安定的な供給に加えて、再生可能エネルギーによる発電がもっと広がっていれば、輸入燃料を使って発電するシステムに頼りすぎず、電気を確保することができるでしょう。各家庭の屋根に太陽光発電設備があり、電気自動車等に蓄電することができ、いざという時には貯めた電気を使うことができれば、家庭や地域単位で最低限の電力が確保できるかもしれません。地域に発電・蓄電ができる家が複数あれば、災害時に電気を分け合うことも可能です。節電協力が必要な時にも対応できるでしょう。2016年から家庭にも選択可能になった電力の自由化により、各家庭でも再生可能エネルギーを選ぶことができるようになりました。

太陽光発電導入など省エネ対応の設備導入に対して、国や行政による補助が始まっています。神奈川県では2023年7月現在、住宅への太陽光発電・蓄電池の設置を促進するために、太陽光パネルと蓄電池の共同購入を支援するなどの施策を行なっています。横浜市も「Zero Carbon Yokohama 2050年までの脱炭素化」の主要施策の一つとして「再生可能エネルギーの地産地消」を掲げています。環境負荷の少ない方法で、地域規模で電力を作っていくという動きはすでに始まっています。家庭単位ですぐに取り組めないかもしれませんが、子どもが社会人になるころにはだんだんと変化しているかもしれません。



横浜市風力発電所(ハマウィング)



子育て生活に電気は欠かせないもの。電力不足になりがちな夏は少し不安です。節電意識を持ち、電気の未来を考えてみましょう。

電気代が高い！ エネルギーとわたしたちの現在地

わたしたちにできることはなんでしょうか

すぐできること、できないけれど覚えておくことよいことを紹介します。

効果大★★★★ 難易度高 家を建て替えたりリフォームする

神奈川県ではZEH(ゼッチ・Net Zero Energy House)で家を建てようと呼びかけています。天井・床・窓・外壁の断熱や通風や日光遮蔽などがなされた省エネ住宅に住むことができれば、電気の力に頼らずとも、夏は涼しく冬は暖かく暮らすことができます。さらにソーラーパネルの設置によりエネルギーを作ることでもできます。賃貸やマンションを選択している人もいますし、家を建て替えることは気軽に取り組めることではありません。長期的な視野として頭に入れておき、老朽化などで建物の建て替え時期がきた時に検討しましょう。

効果中★★★ 難易度中 省エネ家電に買い替える

メーカーによる省エネ家電の開発スピードは早く、消費電力が低い省エネ製品が次々に作り出されています。冷蔵庫やエアコン、テレビなど、新しい家電に買い替えることの節電効果は高いと言えます。家電の買い替えの時期に検討するようにしましょう。

効果小★ 難易度低 節電アクション

家の建て替えも家電の買い替えもすぐにはできない人が多いと思います。身近にできる節電行動を紹介します。

◎炊飯器の保温機能はすぐにオフ

一般的に保温7~8時間の電気代が1回炊飯と同じくらいだと言われていています。炊き立ての方が美味しいしエコ!



◎こまめに電源やスイッチを消そう

子どもと一緒に取り組むことで、子どもにも節電意識がめばえ、習慣化するといいですね。



◎湯沸かしポットに無駄働きさせない

すぐにお湯が沸くポットは便利ですが、毎回満タンにするなど必要以上にお湯を沸かしていませんか?必要量だけ入れて沸かし、毎回使い切るようにするとエネルギーの無駄になりません。

◎家族一緒に過ごす

同じ家の中で別々に過ごすより、同じ部屋にいたほうが空調の無駄を防ぐことができます。また、思い切って家族でお出かけしてしまえば、家の電気使用量の削減にもなりますね。



◎ドライヤーを使いすぎない

ドライヤーはたくさんのエネルギーを使います。タオルドライを丹念にすることで稼働時間を減らしましょう。

もっと詳しく知りたい人に



横浜市
おうちでZero Carbon!



資源エネルギー庁
電気料金の改定について